

# 中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-7

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

<計画年度:平成29年度～平成33年度>

事業名	連絡調整事業	定款条項	第4条第1項第6号事業【会員相互におけるばんえい競馬の情報交換に関すること】	評価年月	平成29年1月
			第4条第1項第7号事業【ばんえい競馬の関係機関及び地域企業、行政、団体との連絡調整に関すること】		
事業運営方針	○当法人の各種事業の円滑な推進と効率化を図るため、ばんえい競馬関係機関及び企業、団体並びに会員相互の連絡調整、情報交換を行う。				
本計画の目標	1	関係機関等との相互連携を強化、関係施策の調整等情報交換を緊密に図り、より効率的・効果的に事業を推進	2	会議等の活性化、新規会員促進の取り組み、懇談会等の充実によって会員相互の親睦と意思疎通を図るとともに、組織運営を強化	
具体的な取組み	1	関係機関等との連携を図るため、各団体会員、構成員としての参画	3	賞典支払明細書、診療費、装蹄料金等の控除支払内訳明細書の送付(年7回)	
	2	馬主だより、馬主協会ニュースを発行し当協会の活動状況、連絡事項等について会員並びに関係機関に情報提供を行う	4	総会、理事会、執行役員会等各種会議の開催と監査、会計検査を実施	

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース) (単位:千円)

区分	年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益		37,730	35,656	37,479	36,460	36,335
内訳	事業収益	6,735	6,377	5,893	4,626	4,980
	受取補助金等	995	995	995	995	995
	受取負担金	30,000	28,255	30,571	30,819	30,360
	雑収益	0	29	20	20	0
経常費用		24,988	27,351	23,511	16,182	22,482
内訳	共済事業費	7,820	9,459	6,416	3,616	7,800
	出走申込等事業費	2,913	2,739	2,293	1,195	1,300
	連絡調整事業費	1,551	1,154	1,494	1,387	2,310
	防疫衛生事業費	3,881	3,675	3,183	3,242	3,290
	事業管理費	8,823	10,324	10,125	6,742	7,782
経常外費用		0	0	0	0	0
他会計振替額		△ 12,742	△ 8,305	△ 13,968	△ 20,278	△ 13,853

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①会員数の減少や高齢化が進み、組織の形骸化が顕著となっている。加えて会員相互の交流も希薄になってきている。	【課題】 ①組織の活性化を図るため、会員相互の交流を設ける等の機会が必要か。 ②中長期視点に立った入会者の促進が必要。
---	---

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①関係諸団体と定期的に意見交換を図るなど、情報の共有や相互理解を増進するとともに、組織力を結集し戦略的な事業推進を図る。 ②会員相互の連絡調整や情報交換の機会を設けるなど親睦を深める。特に会員相互の繋がりは、年々希薄になってきている社会情勢の中で、当協会に対する関心度は極めて低く、積極性を欠き、組織の結束力が低下しているのは否定できない。交流を深める新たなきっかけが必要。 ③そのためには、より多くの会員が参加し易い環境を整えるのは勿論ですが、会員が様々な意見や知恵を出し合い、会員一人ひとりの意識の高揚を図るとともに組織として真に必要とされる活動に取り組む。	【新規事業検討案】 ①具体的には、現在、会員同士が一同に会する機会は、年一度の通常総会のみで、また、各地域における集まりはブロック懇談会を年1回開催しておりますが、これらの参加者を増やす。或いは集まる機会を増やすなどの充実を図って行く事が必要である。
--	--

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	○
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	○
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	△
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

当該事業は、協会が健全な発展を遂げていくためには、必要であり、当面の間は規模、内容とも現状を踏襲して継続していくが、今後、長期的な視点で充実を図ることが望まれる。また、会員の減少と高齢化が一層進む中で、何をすべきかについては、簡単に答えは出ないが、引き続き知恵を出し合い課題の解決に向けて取り組んで行く。

判定
A